

平成 1 6 年度

一級実験動物技術師認定試験
(一般)

各 論
(ネ コ)

試験時間：13時00分～15時00分

解答は答案用紙の該当欄の を鉛筆で黒く塗りつぶして下さい。
をはみ出したり塗りつぶし方が不十分にならないよう注意して下さい。

平成 1 6 年 1 1 月 2 8 日

(社) 日本実験動物協会

各論：ネコ

それぞれの設問について、該当するものを選び、解答用紙の該当欄の を鉛筆で黒く塗りつぶして下さい。

〔問題〕

1. ネコの生物学的分類について正しいものはどれか。
 - 1) 哺乳綱・食肉目・ヤマネコ科・ネコ属・ネコ種
 - 2) 哺乳綱・食肉目・ネコ科・イエネコ属・ネコ種
 - 3) 哺乳綱・食肉目・ネコ科・ネコ属・ネコ種
 - 4) 哺乳綱・食肉目・ネコ科・ネコ属・イエネコ種

2. ネコの染色体数は下記のうちどれか。
 - 1) $2n=38$
 - 2) $2n=38$
 - 3) $2n=46$
 - 4) $2n=76$

3. 下記のうち短毛種のネコはどれか。
 - 1) メインクーン
 - 2) ヒマラヤン
 - 3) コラット
 - 4) バーマン

4. 下記のうち、正しい説明はどれか。
 - 1) 成熟ネコの歯式は、切歯および犬歯はイヌと同じであるが、前臼歯と後臼歯がそれぞれ $3/2$ (上顎/下顎) および $1/1$ (上顎/下顎) なので、歯の総数は上、下顎合わせて40本と、イヌより2本も少ない。
 - 2) 成熟ネコの歯式は、切歯および犬歯はイヌと同じであるが、前臼歯と後臼歯がそれぞれ $1/1$ (上顎/下顎) および $3/2$ (上顎/下顎) なので、歯の総数は上、下顎合わせて30本と、イヌより12本も少ない。
 - 3) 成熟ネコの歯式は、切歯および犬歯はイヌと同じであるが、前臼歯と後臼歯がそれぞれ $3/2$ (上顎/下顎) および $1/1$ (上顎/下顎) なので、歯の総数は上、下顎合わせて30本と、イヌより12本も少ない。
 - 4) 成熟ネコの歯式は、切歯および犬歯はイヌと同じであるが、前臼歯と後臼歯がそれぞれ $1/1$ (上顎/下顎) および $3/2$ (上顎/下顎) なので、歯の総数は上、下顎合わせて30本と、イヌより10本も少ない。

5 . 下記のうち正しい説明はどれか。

- 1) ネコの子宮はイヌと同じ双角子宮に分類され、雄生殖器にはイヌ同様前立腺がない。
- 2) ネコの子宮はイヌと同じ双角子宮に分類され、雄生殖器にはイヌ同様精嚢がない。
- 3) ネコの子宮はイヌと同じ分裂子宮に分類され、雄生殖器にはイヌ同様前立腺がない。
- 4) ネコの子宮はイヌと同じ重複子宮に分類され、雄生殖器にはイヌ同様精巢上体が無い。

6 . 下記のうち、正しい説明はどれか。

- 1) ネコの交尾時間は1回が数10分間と長く、交尾終了は雄が跳び去り、雌が身体をよじって床を転がり回ることである。
- 2) ネコの交尾時間は1回が数分間と短く、交尾終了は雌が跳び去り、雄が身体をよじって床を転がり回ることである。
- 3) ネコの交尾時間は1回が数分間と短く、交尾終了は雄が跳び去り、雌が身体をよじって床を転がり回ることである。
- 4) ネコの交尾時間は1回が数秒間と短く、交尾終了は雌がうずくまり、雄が身体をよじって跳び去ることである。

7 . 下記のうち、正しい説明はどれか。

- 1) ネコは妊娠後でも発情徴候が現れるため、妊娠中の膣垢像では妊娠や不妊の判定は出来ない。
- 2) ネコは妊娠後でも発情徴候が現れるが、特徴的な像を呈するため、妊娠中の膣垢像で妊娠や不妊の判定出来る。
- 3) ネコは妊娠後に発情徴候が現れることはなく、妊娠中の膣垢像で妊娠や判定が可能である。
- 4) ネコは妊娠前期まで発情周期を繰り返し、この時期では妊娠中の膣垢像で妊娠の判定は出来ない。

8 . ネコに関する下記の説明のうち、正しいものはどれか。

- 1) 実験動物としては、古くはエジプト時代に臓器移植手術に用いられた記録がある。
- 2) 我が国においても江戸時代に華岡青洲が麻酔剤の研究に使用した。
- 3) 本格的に実験に用いられるようになったのは17世紀に入ってからである。
- 4) 主として薬物の毒性検定に大量に使用される。

9 . ネコに関する下記の説明のうち、正しいものはどれか。

- 1) ネコの品種として1,000種類程度は知られている。
- 2) 毛色は千差万別であるが、身体の高さや形態は昔からあまり変わっていない。
- 3) 我が国の実験用のネコとしては、もっぱら長毛種で身体の高さいニホンネコが多い。
- 4) ニホンネコはやや凶暴であるが、外科処置によく耐え、身体も大きいことから、外国でよく使用される。

10 . 下記の説明のうち、正しいものはどれか。

- 1) 近年、良質のネコを供給するため、十分品種管理がなされ、実験動物としての適性を有すると見られるシャムネコなどの自家繁殖が行われるようになり、外国に輸出するなど、我が国でもネコの供給体制が確立された。
- 2) ネコの場合は、イヌのビーグル種のような実験用動物の品種は確立しておらず、また十分な環境管理下で遺伝学統御や、微生物学的統御がなされた実験用ネコの安定的供給体制もほとんど出来ていない。
- 3) 実験用として地方自治体より払い下げられたネコは、1994年の「動物の愛護及び管理に関する法律」の改正や、東京都をはじめとする地方自治体の払い下げ中止拡大とともに利用できなくなりつつある。
- 4) 実験用ネコの使用数が減少しているのは、実験用ネコの需要がなくなったということを反映している。

11 . ネコの特徴として、正しいものはどれか。

- 1) ネコでは優れた脳のアトラスや脳図譜が作成されているが、イヌのものよりは精密さを欠く。
- 2) 瞬膜の反応が鈍感であり、眼を使う実験には好都合である。
- 3) ネコは麻酔をかけやすいが、麻酔下で正常血圧を維持することが難しい。
- 4) ヒトと反射反応がよく類似していて、げっ歯類よりも循環器系、神経系、筋肉系などはヒトに近い。

12 . ネコの解剖学的特徴として正しいものはどれか。

- 1) ネコの形態上の最大の特徴は、品種や性別、身体の大きさに関らず、頭の形と脳の位置関係がほぼ一定なことである。
- 2) ネコの鎖骨は著しく進化していて胸鎖乳突筋の腱条に含まれ、げっ歯類やサル類、ヒトと同様である。
- 3) 前肢に4指、後肢には5趾あって、いずれも爪を引っ込めることが出来るが、爪鞘の発達はあまり良くない。
- 4) 両頬の表面には無数の乳頭突起があり、餌を食べる際に、食物中の筋肉成分と骨を選り分けるのに役立っている。

13 . ネコの解剖学的特徴として正しいものはどれか。

- 1) 腸管の長さは体長比で14倍と、雑食性や草食性の動物に比べてはるかに短く、腸壁も厚い。
- 2) 消化管に占める胃の容積は、消化管全体の約3割を占め、胃での消化の役割が高い。
- 3) 心臓の乳頭筋は摘出が容易で、筋繊維の走行が摘出心室筋標本作製するのに適している。
- 4) ネコの腎臓は通常、腹大動脈と後大静脈の両側で、右腎は第2、第3腰椎間、左腎は第3、第4腰椎間に位置しているが、イヌに比べて、特に右腎は付着がルーズな傾向にある（遊走腎と呼ばれる）。

- 14 . ネコの生理学的特徴として正しいものはどれか。
- 1) ネコは麻酔に弱く、麻酔中血圧を一定に維持することが出来ない。
 - 2) 他の動物と比べて平衡感覚や反射機能が未発達で、脳への電極植え込みや部分的な脳の手術にもよく耐える。
 - 3) ネコの眼には、ヒトの半月膜に相当する第2眼瞼が存在し、その機能はよく発達しているため、薬理試験に利用されている。
 - 4) わずかな明暗の変化に応じて針状の瞳孔を敏感に調節出来るため、暗い所でも物体を容易に確認出来る。
- 15 . ネコの感染症について正しい説明はどれか。
- 1) 慢性鼻炎はトキソプラズマが慢性化したものである。
 - 2) リケッチア症ではネコの伝染性貧血（ヘモバルトネラ病）の症状を呈する。
 - 3) マイコプラズマ病は、宿主の健康状態や他の病原体との混合感染（結膜炎や呼吸器病）によって症状の程度が異なるが、多くは急性疾患として早い経過をとる。
 - 4) ウレアプラズマ病は脳炎の原因となると言われている。
- 16 . ネコ汎白血球減少症について正しい説明はどれか。
- 1) ネコ科、イタチ科、アライグマ科の動物に共通して感染する。
 - 2) 感染初期の著しい赤血球の減少（正常値 $85,000/\mu\text{l}$ 前後が $50\sim 4,000/\mu\text{l}$ 以下になる）が特徴である。
 - 3) 体温は 40 前後の3相性の発熱を呈する。
 - 4) 下痢、嘔吐はまれである。
- 17 . ネコウイルス性鼻気管炎、ネコカリシウイルス感染症に関する説明として正しいものはどれか。
- 1) ネコウイルス性鼻気管炎はコロナウイルスを原因とする。
 - 2) 臨床症状として、口、咽頭、舌などの潰瘍は見られない。
 - 3) どちらも伝播力がきわめて強いが、臨床症状からは鑑別は容易である。
 - 4) 両者ともに 40 前後の発熱、元気消失、流涎、眼や鼻からの分泌物増加、呼吸困難、発作的なくしゃみ、食欲廃絶が見られる。
- 18 . ネコ伝染性腹膜炎に関する説明として正しいものはどれか。
- 1) ヘルペスウイルスの感染による。
 - 2) 症状としては、慢性口内炎、歯肉炎、慢性上部気道疾患などが認められる。
 - 3) 病理学的には粘稠度の高い浸出液（腹水）が体腔に貯留する浸出型と種々の実質臓器に灰白色結節（肉芽腫）病変を作る非浸出型が見られる。
 - 4) 予後は良く、罹患ネコをコロニーから隔離すれば蔓延を防ぐことが出来る。

- 19 . ネコ免疫不全ウイルス感染症について正しい説明はどれか。
- 1) レトロウイルス科のフィロウイルス亜科に属するネコ免疫不全ウイルスによる感染症である。
 - 2) 発症しても、症状はほとんどが不顕性に推移する。
 - 3) 病変および症状は宿主の液性免疫不全が原因と考えられている。
 - 4) 予後不良で、今のところワクチンはない。
- 20 . ネコ白血病ウイルス感染症について正しい説明はどれか。
- 1) レトロウイルスのE型DNA腫瘍ウイルスであるネコ白血病ウイルスによる感染症である。
 - 2) 症状は、はじめは元気消失、鼻水、リンパの腫脹、下痢などが観察され、6カ月後頃に発症、貧血、白血球の減少、血小板の減少などが見られる。
 - 3) 唾液を介した接触感染が多く、また、垂直感染も多い。
 - 4) 若齢ネコよりは、老齢ネコや成熟ネコが感染しやすく、致死率も高い。
- 21 . 下記のうち、真菌に由来するネコの感染症はどれか。
- 1) クリプトコッカス病
 - 2) イヌ糸状虫症
 - 3) ネコ小穿孔疥癬症
 - 4) 腸ジアルジア症
- 22 . 下記のうち、ネコ（排泄物を含む）からネコへ直接感染するものはどれか。
- 1) イヌ糸状虫
 - 2) 腸トリコモナス
 - 3) トキソプラズマ
 - 4) 瓜実条虫
- 23 . 下記のネコの感染症のうち、中間宿主を介して感染するものはどれか。
- 1) 胃虫
 - 2) イヌ回虫
 - 3) ネコ回虫
 - 4) イソスポーラ

2 4 . ネコ下部尿路疾患について正しい説明はどれか。

- 1) この疾患を起こす原因物質の代表的なものとして、尿路で析出する塩化マグネシウムアンモン（ストラバイト結石）がある。
- 2) この疾患を起こす原因物質の代表的なものとして、尿路で析出する塩化カルシウム（カルシウム結石）がある。
- 3) 尿pH、尿量や食餌中のマグネシウム含量などが関与し、削瘦、早すぎる去勢などによる尿路の拡張が発症のリスクを高める。
- 4) 交尾回数、出産経験、食餌中のカルシウム含量などが関与し、肥満や去勢などによる尿路の狭窄が発症のリスクを高め、若齢のものほど発症しやすい。

2 5 . ネコ下部尿路疾患について正しい説明はどれか。

- 1) 解剖学的差異より、尿路が長く細い雄の方が雌よりも発症率は低い。
- 2) 解剖学的差異より、尿路が短く太い雌の方が雄よりも発症率は低い。
- 3) 解剖学的差異より、尿路が短く太い雄の方が雌よりも発症率は低い。
- 4) 罹患したネコは、元気消失、食欲減退などがはじめに見られるが、血尿、頻尿や尿意頻数（頻回の排尿姿勢）などは見られない。

2 6 . ネコのケージに関して正しい説明はどれか。

- 1) 単飼ケージの大きさは、35(W) × 40(D) × 61(H)cmくらいが望ましい。
- 2) 繁殖ケージ(分娩、授乳期用)は、60(W) × 90(D) × 120(H)cm以上の大きさが望ましい。
- 3) ILARのガイドラインでは、1頭当たり、床面積は体重4kg以下が0.27m²、高さ61cmと推奨している。
- 4) ILARのガイドラインでは、1頭当たり、4kgを超えるものは0.54m²以上で、高さは91cmと推奨している。

2 7 . ネコケージについて、正しい説明はどれか。

- 1) 検疫中や実験中のネコを収容する単飼ケージは金網床を用いず、砂などの床敷を使用して飼育する。
- 2) 内部寄生虫のケージ内感染を断ち切るという観点から、ネコの飼育に砂などの床敷を使用してはならない。
- 3) ハーレム方式による自然交配や子ネコの育成用の群飼用ケージとしては、柵を複数つけた構造や平飼ケージが望ましい。
- 4) 繁殖ケージでは金網床を用い、その下に糞尿受け皿のついたものを使用し、砂や紙くず等の中に入れてはならない。

28．ネコの群飼育用ケージについて正しい説明はどれか。

- 1) 群飼育用ペンの大きさは床面積が12～25m²で高さが3mとし、1m²当たり1匹の割合で収容するのが妥当とされる。
- 2) 群飼育用ペンの大きさは床面積が12～25m²で高さが3mとし、1m²当たり3匹の割合で収容するのが妥当とされる。
- 3) 夜間は群飼育用ペンの中で自由に放し飼いし、昼間はケージ内に収容するといったようなペン飼育とケージ飼育を組み合わせた飼育方式もある。
- 4) 飼育室の環境条件は、試験や研究に供する場合には、温度18±20、湿度55±10%、換気回数5～10回/時間の条件に設定されることが望ましい。

29．ネコの飼料について正しい説明はどれか。

- 1) 近年ペットフードの著しい研究の進展とともに、雑食動物としての栄養学、嗜好性や物性を考慮して、各種のキャットフードが用意されている。
- 2) キャットフードの種類は、嗜好性の面から、ドライ、セミモイストおよびモイストに大別される。
- 3) 実験動物用としては、ドライとモイストが主に使用される。
- 4) 実験ネコ用には、カロリーとして5.5kcal/g程度が一般的に使用されている。

30．ドライフードの1日当たりの給餌量として正しいものはどれか。

- 1) 維持期の成熟ネコでは体重の2～2.5%程度が適切とされる。
- 2) 子ネコでは成長に応じて体重の17～25%程度が適切とされる。
- 3) 妊娠期では体重の13%程度が適切とされる。
- 4) 授乳期の親は、授乳期間と子ネコの数に応じて体重の12～14%程度が適切とされる。

31．ネコの給餌について正しい説明はどれか。

- 1) ネコはイヌのように、与えられた餌を1度に食べてしまう。
- 2) ドライフードを与える場合には、3日量が入る給餌器を用いると良い。
- 3) 缶詰などのウェットフードを与える時は、1日量を少量ずつ数回に分けて与える。
- 4) 缶詰などのウェットフードを与える時は、1週間分を少量ずつ数回に分けて与える。

3 2 . ネコの給水に関して正しい説明はどれか。

- 1) ネコの1日当たりの摂水量は飼料中の水分含量によって異なり、成熟ネコで含水量が約75%の缶詰給与の場合には、12~15ml程度である。
- 2) ネコの1日当たりの摂水量は飼料中の水分含量によって異なり、成熟ネコで含水量が約75%の缶詰給与の場合には、120~150ml程度である。
- 3) ネコの1日当たりの摂水量は飼料中の水分含量によって異なり、ドライフード給与の場合には9~15ml程度である。
- 4) ネコの1日当たりの摂水量は飼料中の水分含量によって異なり、ドライフード給与の場合には90~150ml程度である。

3 3 . ネコの輸送に関して正しい説明はどれか。

- 1) 輸送用の容器として古くは麻袋が使用されたが、ネコの習性を考えると動物福祉上からは望ましいものである。
- 2) 輸送が短時間の場合でも、必ず給水を行わなければならない。
- 3) ネコは車酔いすることがないので、出来るだけ給餌をする方が良い。
- 4) 「動物の愛護及び管理に関する法律」や「実験動物の飼養及び保管等に関する基準」に従うことが基本である。

3 4 . ネコの国際輸送に関する説明として正しいものはどれか。

- 1) 空路で海外へ輸送する場合には、ILARの規定があり、航空会社の用意した定型のケージでなければ送ることが出来ない。
- 2) 空路で海外へ輸送する場合には、IATA(国際航空輸送協会)の規定があり、給水瓶と水受けおよび給餌器が取りはずし可能で、ネコのサイズに対応した金属製ケージであることが義務付けられている。
- 3) ケージサイズは、それぞれ奥行が(ネコの体長)+(脚の長さの1/2)、横幅が体幅の2倍、高さは(体高)+5~10cmと決められており、この基準をクリアしないと輸送を受けてもらえない。
- 4) ケージサイズは、それぞれ奥行が(ネコの体長)+(脚の長さ×2)、横幅が体幅の2倍、高さは(体高)+15~20cmと決められており、この基準をクリアしないと輸送を受けてもらえない。

3 5 . ネコの発情に関して正しい説明はどれか。

- 1) 発情すると膣が赤みを帯び、肥大化し、粘液が増加する。
- 2) 雄は独特な低い鳴き声をあげ、床を転げ回り、至るところに身体をこすりつける。雌は膣を刺激すると、拳踵、足踏行動、尾根部の突出、拳尾などを示す。
- 3) 膣垢塗抹標本を鏡検すると、角化上皮細胞が多く、次いで大型の有核上皮細胞が90%以上を占めるようになる。
- 4) 排卵は交尾刺激により、交尾後2~3時間で起こる。

36 . ネコの発情周期について正しい説明はどれか。

- 1) 発情周期は発情前期、発情期および発情後期の3期に区分され、2～3週間隔で繰り返される。
- 2) 発情周期は発情前期、発情期、発情後期、発情休止期の4期に区分され、2～3週間隔で繰り返される。
- 3) 発情周期は発情前期、発情期、発情後期、発情休止期の4期に区分され、2～3カ月間隔で繰り返される。
- 4) 発情期間は、13～17日間である。

37 . ネコの交配について正しい説明はどれか。

- 1) 交配は通常、常時雄1頭に対して雌10頭くらいのハーレム方式か、1週間の雌雄同居方式で行うのが一般的である。
- 2) 交尾行動に入ると、雄が雌の頸背部をしっかりとくわえ、後肢で雌の脇腹をこするようになると、雌は背部を低くしたままで後肢を伸ばして陰部を上げ、尾も上げる。
- 3) 交尾は1時間に1回程度行い、交配初日に最も多く、2～3日続く。
- 4) 交尾が成立すると膣にプラグが形成される。

38 . ネコの妊娠・分娩について正しい説明はどれか。

- 1) 妊娠期間は58～69日程度の幅があるが、一般には 65 ± 2 日である。
- 2) 交尾後8～10日には乳頭の色調が変化し、妊娠後半には、腹部の触診、体重増加や腹部の膨満などにより妊娠の有無を判断出来る。
- 3) 交尾後50日目以降の妊娠後期に、妊娠ネコを清潔な分娩用ケージに移し、専用の巣箱(45(W)×55(D)×13(H)cm程度)に滅菌した紙片やタオルなどを入れてやり、飼料は少なめに与える。
- 4) 分娩当日は食欲が増加し、動きが静かになり、不安な表情を見ることが多い。

39 . ネコの分娩に関して正しい説明はどれか。

- 1) 分娩に要する時間は、産子数にもよるが、普通は2～3時間である。
- 2) 分娩に要する時間は、産子数にもよるが、普通は12～13時間である。
- 3) 分娩後間もない母ネコの体温維持のために、巣箱の中に保温マットを敷くと良い。
- 4) 産子数は平均14匹(11～16匹)である。

40 . ネコの哺育に関する説明として正しいものはどれか。

- 1) 母ネコの授乳能力は、分娩直前の乳房を圧迫しても予測不能である。
- 2) 乳汁の出が思わしくないときは、分娩後の子ネコの様子を見て人工哺育を行う。
- 3) 母ネコのエネルギー所要量は授乳期が最も高くなるため、給与飼料はできるだけ低エネルギーのものを選ぶべきである。
- 4) 出生直後の体重が7gに満たない子ネコは、人工哺育を考える。

- 4 1 . 子ネコの人工哺乳について正しい説明はどれか。
- 1) 授乳中の母親の床敷は毎日交換する。
 - 2) 分娩・哺育ケージ内の温度は、28～30 が理想である。
 - 3) 25 以下の室温では哺育に支障をきたし、食殺が見られるようになる。
 - 4) 昼間は母親がケージの外へ出て運動出来るように配慮する。
- 4 2 . ネコの人工哺育における授乳法として正しいのは下記のうちどれか。
- 1) 分娩直後は1日に10ml以下の量を4～5回に分けて与える。
 - 2) 2～3週齢までは1日に150ml以下の量を4～5回に分けて与える。
 - 3) 3週齢以降では1日に500～1,000mlまで増やす。
 - 4) 人工哺乳は、ヒト用哺乳瓶または注射筒を用い、市販のヒト用人工乳またはブタ用粉末人工乳を与える。
- 4 3 . 下記の説明のうち正しいものはどれか。
- 1) 出生子の平均体重はシャムネコの場合で50～100gで、雌は雄よりやや大きい。
 - 2) 18～20日齢で開眼し、30日齢頃から自分で餌を食べようになる。
 - 3) 離乳は、通常45～52日齢で行う。
 - 4) 体重が1kgに達するまでは十分に運動をさせ、正常な体格を作ることが繁殖を行う上で大切である。
- 4 4 . ネコの取り扱いについて正しい説明はどれか。
- 1) ネコは本来、自主性が強く神経質で、ヒトの干渉を喜ぶ性質がある。
 - 2) 一般に、警戒心が強く、見知らぬヒトを避け、不用意に手を出して捕まえようとすると、引っ掻いたり咬みついたりすることがあるので気をつけなければならない。
 - 3) ネコの保定にあたっては、声をかけると興奮するので、出来るだけ無言で静かに近づき、お腹をなでて警戒心を和らげる。
 - 4) ケージから取り出すときは、片手で、前肢をつかんで外に引き出す。
- 4 5 . ネコの取り扱いに関して正しい説明はどれか。
- 1) 大きなネコをケージから引き出すときは、片方で首筋をつかみ、もう一方の手で腰部を背面から支えると良い。
 - 2) 移動にあたっては、片手で頭部と後肢を保定し、小脇にかかえ込む。
 - 3) 粗暴なネコは、時間をかけて語りかけても、性質が改善されることはないので、強制的に力づくで抑え込むしか方法がない。
 - 4) 保定にあたっては、決してネコを正視することなく（ネコが威嚇されていると勘違いするので）すばやくケージ内に両手を入れ、前肢を大きくつかむ。

4 6 . ネコの経口投与について正しい説明はどれか。

- 1) 粉末または顆粒状のものはゼラチンカプセルにつめた後、片方の手で開口させておいて舌尖端にのせて押し込む。
- 2) 錠剤などの固形物はそのままピンセットでつまみ、片方の手で開口させておいて舌根部にのせて押し込む。
- 3) 液状のものは、カテーテル（ネラトンカテーテルNo.3くらいが良い）を用いて、経口（または経鼻）投与する。
- 4) ネコのカテーテル投与はイヌに比べて簡単なので、麻酔をかけて行う必要はない。

4 7 . ネコの腹腔内投与について正しい説明はどれか。

- 1) ネコのような比較的大きい実験動物でも腹腔内投与は頻繁に行われる投与方法である。
- 2) 補助者は片手で両前肢を合わせて持ち、もう一方の手で両後肢を合わせて持った後、ネコの腹部を術者の方に向けて頭部を上にして抱く。
- 3) 腹腔内には多くの臓器があるので、それらを傷つけないように慎重に注射針を刺入する。
- 4) 一旦皮下に刺入し、そのまま真直ぐに針先を押し進め、一気に腹腔内に入れる。

4 8 . ネコの採尿・採糞法について正しい説明はどれか。

- 1) 雌ネコで強制採尿する場合は、仰臥位に保定し、補助者が尾をつまんで下向きに引っ張ることにより、チューブは容易に外尿道口から挿入できる。
- 2) 雌ネコの外尿道口は小さくイヌよりチューブの挿入は難しい。
- 3) 摂取する飼料により異なり、ドライフードを与えている場合には150～160ml、缶詰では800～1,200ml程度がネコの1日の排尿量である。
- 4) ネコの1日の排糞量は500g前後である。

4 9 . ネコの麻酔に関する注意事項として、正しい説明はどれか。

- 1) 12～24時間前の絶食は手術中の排便防止上行ってはならない。
- 2) 幼若ネコは成熟ネコより肝機能や腎機能が弱いことが多く、麻酔剤の過剰投与になりがちである。
- 3) 成熟ネコは幼若ネコより肝機能や腎機能が弱いことが多く、麻酔剤の過剰投与になりがちである。
- 4) 肥満ネコでは脂肪沈着が麻酔剤の効果を強めることがある。

50 . ネコの麻酔に関して、正しいものはどれか。

- 1) 麻酔が長時間の場合、塩酸ケタミンの筋肉注射がよく行われる。
- 2) 短時間の麻酔には、ペントバルビタールナトリウムの静脈内投与か腹腔投与が良い。
- 3) 麻酔の副作用としての流涎を防止するため、硫酸プロカイン (0.01 ~ 0.05mg/kg i . m .) を前投与する。
- 4) 麻酔を施す際には、動物の保温が特に大切である。